

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	CTを用いた心不全における腎臓の容積変化の評価			
② 実施予定期間	実施許可日から 2029 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	心不全群：対象期間中に当院で胸腹部 CT を受けられた心不全の患者さん コントロール群：対象期間中に当院で胸腹部 CT を受けられた心不全ではない患者さん			
④ 対象期間	2022 年 2 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	全診療科（救命救急センターを除く）			
⑦ 研究責任者	氏名	伊東 克能	所属	放射線科
⑧ 使用する情報等	① 日常診療の記録から収集する項目：識別コード、年齢（CT 検査時）、性別、現病歴、既往歴、血液検査結果（クレアチニン、eGFR）、CT 画像 ② 本研究で検討する項目：CT のパラメータ、CT の測定結果（両側の腎臓体積、両側の腎静脈径、下大静脈径、腹部大動脈と上腸間膜動脈の距離、心臓最大横径、心胸郭比）			
⑨ 研究の概要	心不全は心臓の機能障害を特徴とする複雑な臨床症候群であり、臓器の灌流障害と全身うっ血につながります。心不全は腎臓にも影響を及ぼすと考えられおり、心不全による心拍出量の低下により腎実質への血流が減少したり、右心不全に伴う右房圧の上昇は腎実質のうっ血を引き起こしたりします。近年は画像解析技術の進歩により、CTの画像データから完全自動化された3次元臓器セグメンテーションと容積測定ができるようになりました。3次元CT容積測定に基づいた腎臓の容積と腎機能の関連については、既に報告されています。しかし、現在まで心不全に関連する腎臓容積の変化と腎機能または腎障害の進行との関係は十分に解明されていません。 本研究の目的は、3次元CT容積測定に基づいて心不全における腎臓容積変化を調査し、腎機能と疾患進行との関連性を検討することです。本研究によって、心不全に関連する腎臓の容積変化を客観的に提供できる可能性があります。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2025年	6月	18日

⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません。本研究で使用する機器に関連する企業からの寄付はありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：鎌村 直彦			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285